

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	1ペテロ4:12, 13
賛美	御名をかかげて(Rick Founds ppt 17)
使徒信条	会衆一同
交読文	51
賛美	モア・ザン・イナフ (Faith03 Vol2 #5 ppt 28)
メッセージ	恐れないでただ信じていなさい(マルコ5:22-43)
祈り	
賛美	イエスは勝利をとられた (ミクタム60 ppt 15)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	パスターと川合幹事は、8/4(水)夜から7日(土)までの間、 新潟グローリーチャペルへ奉仕に出かけます。

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉(ヨハネ 14:13、16:23-24) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

私は が私の名によって求める事は何でもそれをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。

が私の名によって何かを私に求めるなら、私はそれをしましょう。

まことにまことに に告げます。

が父に求めることは、何でも、父は私の名によってそれを にお与えになります。

求めなさい。そうすれば受けるのです。

それは の喜びが、満ち満ちたものとなるためです。

の主、イエス・キリストの名前によって。アーメン！

会堂管理者の一人、ヤイロという人がイエスの足もとにひれ伏して自分の家に来ていただきたいと願った。彼には十二歳のひとり娘がいて、死にかけていたのである。

大勢の群衆が押し迫っている中、イエスと彼は共に行ったが、その途中、ある事が起きた。

12年の間長血を患っていた女の癒しが行われたのだ。

もし自分の事で頭がいっぱいな人だったら、邪魔な群衆なんて消えればいいのに、イエス様は何を立ち止まってきよきよしているのだ、この女は癒されたのだから早くしてくれ、などと思うかもしれない。

しかし、全てを見通す主の思い計らいは、我々の思いを超えて遥かに高く、無駄な事は何一つ無い。

そうこうしているうちに、娘が亡くなったとの報告を受けた。

イエスはそれを聞き流して(岩波訳)「**恐れないで、ただ信じなさい。**」と言った。

彼は主に親しい少人数の弟子だけを伴い、その他は誰も一緒に行くことをお許しにならなかった。(37節)

主は御技を為すために、有象無象の大人数は必要なく、少人数の信仰を持った者達がいれば良い。

多くの人たちは「もう死んだのだから先生を煩わすには及ばない」(35節)と言ったり、取り乱したり、大声で泣いたりわめいたりしたり(38節)、イエスをあざ笑ったり(40節)して、純粋に信じる者の心さえくじくからだ。

イエスは少女の手を取り「少女よ、起きなさい」と声をかけると、すぐさま起き上がり、自分の足で歩き始めた。

そこにいた者達は非常な驚きに包まれたが、主はこの事を誰にも知らせないように、きびしく命じた。

信じない者達は外に追い出され(40節)、主に親しい少数の者だけが奇跡を密やかに見る事ができるのだ。

実は、平行箇所のマタイ福音書ではこの場面は少し状況が違っている。

「私の娘がいま死にました。でも、おいでくださって、娘の上に御手を置いてやってください。そうすれば娘は生き返ります。」(マタイ9:18)

ヤイロがイエスにお願いした時は、娘は既に死んでいて、生き返らせていただきたい、と願っている。

マタイとマルコ、ルカとで同じ事を言っているのに、整合性が取れていないのはどういう事だろうか。

イエスのご性質は信じる一人一人を通して表現され、福音は人の「宣教」という愚かさによって伝えられる。

イエスがどういのお方であるか、という印象や、強調したい事柄は、書いた人や表現する人によって皆違う。

聖書は様々な立場の人によって書かれるため、表現は非常にバラエティに富み、様々な人の違った角度

からの表現がある。

もし神が、一字一句、整合性を完璧に取る事を重視したのであれば、福音書は4つも必要無かつただろうし、聖書はもっと平坦で味気無いものとなっていただろう。

聖書は人を通して書かれたが、それでも天地が滅びた後も残るのは、間違いなく神の言葉でもあるからだ。

マタイは、死んだ娘をイエス様は必ず生き返らせて下さる、という、親の信仰を強調した。

彼は恐らく安息日ごとに読まれる御言葉を聞き、神は何を喜ばれ何を喜ばれないか知り、信じていただろう。

長血を患う女は、彼女の信仰が彼女自身を救ったが、ヤイロの娘は、ただ親の信仰によって救われたのだ。

親の信仰が子を救ったもう一つの例、創世記 22 章を見たい。

アブラハムは、長年待ち望んでやっと産まれた愛する一人息子を捧げよと言われた時、神には人を死者の中

からよみがえらせることもできる、と考え(ヘブル 11:19)3 日の道のりを経て主の示された山へ行き、

「私と子どもとはあそこに行き、礼拝をして、あなたがたのところに戻って来る。」(創世記 22:5)と言った。

その信仰によって、死者の中からイサクを取り戻した。

このように信仰の試練を通らされる事があるが、自分の握りしめているものを主の前に横たえ、明け渡す

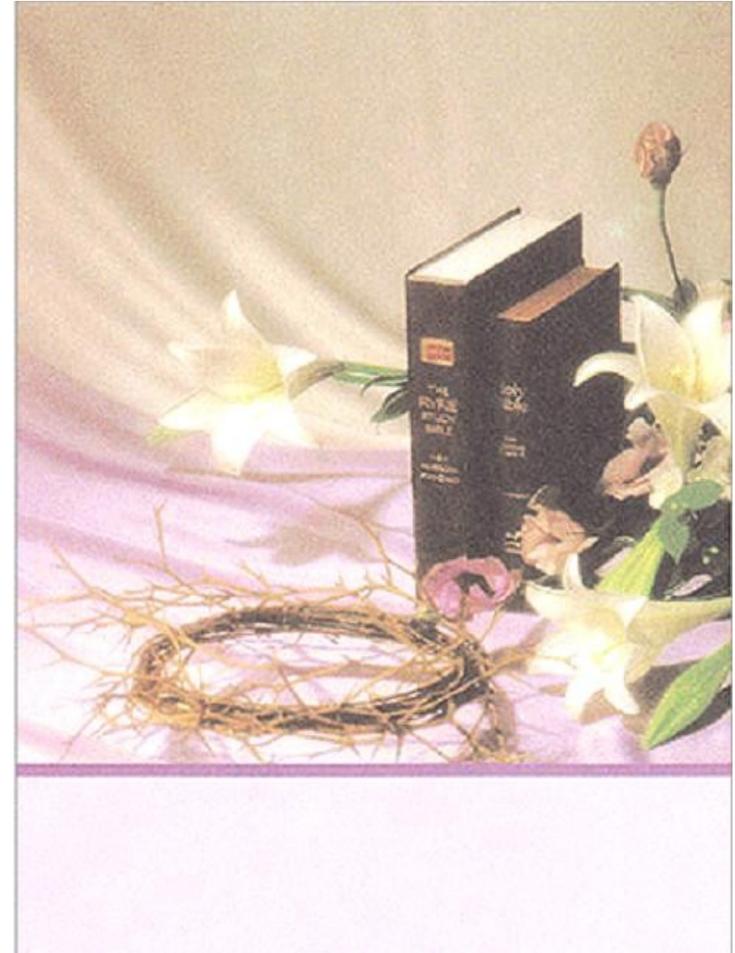
時、失おうとしていたものを得、しかも、失おうとしていたものの代わりまで与えられる。

そしてこの試練を通った者は、信仰における不純物は一切削ぎ落とされるのだ。

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

天声教会

1部礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

- 1部(日本語) 10:00
- 2部(韓国語) 11:00
- 食事/フェローシップ 12:00~
- 3部(韓国語 日本語通訳あり) 14:00

集会

- 月~金 早天祈祷会 5:00~
- 火~木 夜の祈祷会 20:00~

水曜集会

- 1部(韓国語 日本語通訳あり) 13:00~
- 2部(日本語) 19:30~
- 金曜徹夜祈祷会 21:00~

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅6番出口より
徒歩5分

JR・関内駅より徒歩10分

京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿いの、伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、1Fがファミリーマートになっております。

〒231-0058

パスター：林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

email: ephes_03-r@yahoo.co.jp